

2022年度 事業報告書

2022年4月1日

～2023年3月31日

特定非営利活動法人 ムーミンの会

2023年5月27日

1 事業活動方針

- ① 保育所に関する事業として、ムーミン保育園、あそびの杜保育園、ろぜっと保育園、及び地域の子育て支援を行った。
- ② 放課後児童健全育成に関する事業として、陽だまり学童クラブ、なないろ学童クラブを行った。
- ③ 障害児・者と高齢者の福祉に関する事業として、障害児通所支援事業つむぎ子ども教室及びⅡ、相談支援事業つむぎ相談支援事業所を行った。
- ④ ムーミンなかま食堂に関する事業を法人の理念に基づく大切な事業と位置付け継続してスタートから100回を超えて開催した。
- ⑤ 子ども子育て支援第2複合施設「ともだちの山」を西区西久保町24-35に開設し、そこにあそびの杜分園（新設）、陽だまり学童クラブ（移転）、つむぎ子ども教室Ⅱ（新設）の事業を行った。
- ⑥ その他、この法人の目的を達成するために上記の事業と本部子育て研究所に関する事業を、新型コロナウイルス感染状況を判断し適切に行った。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 保育所に関する事業・・・1) ムーミン保育園

・保育方針 子育ての科学に基づき、ヒトとしての生体の生活リズムを守り育て、子どもの発達を保障する保育実践

・内容 ア 児童の健全な心身の発達を促すため、健康状態、遊び、昼寝、給食など生活全般に渡り、より個別的な配慮のもとで保育を行った。

イ コロナ禍においても保護者と密接な連絡を取り合う努力をし、子どもの発達や保育内容などについて、理解および協力を得るよう努めた。また、全保護者に対して年1回以上の個人面談を行うようにした。

ウ 新型コロナウイルス感染予防のため、園内および玩具等の消毒や、職員・保護者の消毒・検温・マスク着用の徹底、保護者の保育室入室制限などを行った。

エ 障がい児保育…つむぎ子ども教室との連携を図り、心身に障害や発達の遅れがある乳幼児の保育を行った。

オ 年度限定保育…待機児童解消対策として、フリー保育室を利用し入所保留児童（1.2歳児）の受入を行った。

カ 保育園行事

コロナの感染状況に合わせて行事内容、開催方法の変更、縮小をしながら下記の通り行事を行った。

4月…新入園児の受け入れ

5月…体操教室/英語遊び開始（4.5歳児）0～2歳児保育参観・クラス懇談会

6月…3歳児・障がい児早朝散歩 3～5歳児保育参観・クラス懇談会

尿検査（3～5歳児） 第1回園児健康診断

7月…プール開き 水泳教室開始（5歳児）（歯科検診は中止）

3～5歳児個人面談 社宮司公園にて夕涼み会

8月…夏期保育

9月…早朝散歩・保護者学習会「食育」 プール終了 夏祭り（保護者会共催）
 10月…運動会（3歳児以上） 5歳児個人面談 3歳児視聴覚検査
 4歳児お泊り保育（高取山～園泊） 弁当の日
 11月…4歳児個人面談 5歳児お泊り保育（上郷森の家泊）
 みかん狩り（保護者会共催）
 12月…保育実践報告会「子どもの発達」 歯科検診
 クリスマスバイキング クリスマス会 もちつき
 1月…3歳児個人面談 3～5歳児保育参観・懇談会
 2月…節分 弁当の日 0～2歳児保育参観・懇談会
 全学年「年間保育計画の振り返りと子どもの発達」
 3月…成長を祝う会 弁当の日 第2回園児健康診断 もちつき
 新年度説明会 お別れ会 卒園式
 通年…英語遊び 水泳教室 体操教室 リズム運動（4.5歳児）
 ＊第3者評価を受審した

・開所日時 通年

・開所時間…月曜日から金曜日 7:00～20:00、土曜日 7:00～18:00。ただし、日曜・祭日のほか年末年始（12/29～1/3）は休業。

・場所 ムーミン保育園

・従事者人員 施設長（園長）…1名 主任保育士…1名 保育士…20名 保育補助…5名
 栄養士…2名 調理従事者…3名 事務…3名

・対象者 就学前の乳幼児

定員 60名（実員 63名） 年度限定事業 5名

0歳児…6（7）名 1歳児…8（9）名 年度限定…4名

2歳児…10名 年度限定…1名

3歳児…12（11）名 4歳児…12（13）名 5歳児…12（13）名

・支出金額 191,942,343 円

保育所に関する事業・・・2）あそびの杜保育園

・保育方針 ムーミン保育園と同じ

・内容 ムーミン保育園と同じ ただし、（オ）年度限定保育を除く。

5月より一時保育事業を実施。医ケア児は分園で受入を行った。

＊令和4年4月1日 西区久保町24-35 ビル内に分園を開所し、既存園を乳児棟、新規園を幼児棟として保育を行った。また、分園開設に伴い0・1歳児の面積基準の改定と、定員および受入数を増員した。

＊5月乳児棟（本園）玄関改修および、9月0歳児クラスの保育室改修工事と保育室変更をした。

・保育園行事 ムーミン保育園と同じ

ただし、9月 4歳児お泊り保育では、鷹取山から野毛山動物園に変更した。

保護者会共催行事として12月あそびっ子まつり、1月いちご狩り遠足を行った。

＊4月に「ともだちの山」内覧会、6月には開所式を行った。

- *9月 第3者評価実施した。
- ・開所日時 通年 ムーミン保育園と同じ
- ・場所 あそびの杜保育園 本園・分園
- ・従事者人員 施設長(園長)…1名 主任保育士…1名
 保育士…24名 保育補助… 8名 栄養士…1名 調理従事者…6名
 看護師…1名 事務・経理…1名
- ・対象者 就学前の乳幼児 定員 69名 (実員 66名)
 本園(乳児棟) 0歳児…5名(6名) 1歳児…9名(13名) 2歳児…10名(13名)
 分園(幼児棟) 3歳児…15名(15名) 4歳児…15名(12名) 5歳児…15名(7名)
- ・支出金額 203,936,545 円

保育所に関する事業・・・3)ろぜっと保育園

- ・保育方針 ムーミン保育園並びにあそびの杜保育園と同じ
- ・内容 ムーミン保育園並びにあそびの杜保育園と同じ ただし、(オ)年度限定保育、一時保育を除く
 - * お泊り保育…4歳児は園内、5歳児はあじさい荘で行った。早朝散歩保育を実施した。
 - * 西区保育所子育てひろば私立常設園事業
 育児支援専任保育士2名を配置し、園舎開放・地域交流・育児相談・baby マッサージなどを行った。区内子育て関連施設と「育ちと関わり」改訂版を作成した。
 - * 第3者評価を受審した。
- ・開所日時 通年 ムーミン保育園並びにあそびの杜保育園と同じ
- ・場所 ろぜっと保育園
- ・従事者人員 施設長(園長)…1名 主任保育士…1名 保育士…20名 保育補助…4名
 栄養士…2名 調理従事者…3名 保育事務・経理…3名 用務員…2名
 看護師…4名
- ・対象者 0～5歳児の乳幼児 定員 90名 (実員 92名)
 0歳児…9(9)名 1歳児…12(13)名 2歳児…15(16)名 3歳児…18(17)名
 4歳児…18(18)名 5歳児…18(19)名
- ・支出金額 234,764,299 円

② 放課後児童健全育成に関する事業・・・1)陽だまり学童クラブ

- ・目的 一日24時間の子育てを大切に、放課後児童が毎日の生活を楽しく生き生きと送ることで、その健やかな育ちを保障する。
- ・内容 ア 自律性・自立性を育て、自治力を身につけるために、よく考え、自由に話し合い、決め、皆で実行しあう関係作りを大切にしながらリーダーを育成した。
- イ からだ全体や手先を使った遊びを毎日たっぷり楽しみ、ボール運動など体育スポーツにも挑戦できる機会を設けた。
- ウ 学習や遊びの時間の区別を大切に、自立性を育てるための必要最低限のルールを決め、互いに守る力をつけた。

- エ 年間行事の体験を通じて、社会性を身につけた。
- オ ムーミン・なかま食堂の手伝いを通じて、社会性を身につけ、地域との交流を深める予定だったが、コロナが収束せず、できなかった。
- カ 保護者、本部、なないろ学童、保育所、つむぎ子ども教室等、関係機関との連絡、連携を密にした。
- キ 統合保育・・・放課後等デイサービス利用児童との積極的な交流を通し、児童の成長と発達を促した。
- ク 保護者に対し、年一回以上の個人面談を行った。
- ケ 行事 4月・・・入所式 5月・・・個人面談
8月・・・大掃除 お楽しみ会 お泊り会
10月・・・ハロウィン 12月・・・クリスマス会 お楽しみ会
2月・・・個人面談 3月・・・大掃除 卒所式
*通年、お誕生日会

- ・開所日時 通年 ただし、日曜・祭日のほか年末年始（12/29～1/3）は休業。
平日の短縮授業に限り、「放課後」を開所時間とした。
月～金曜日・・・12：30～19：00 土曜日・・・9：00～19：00
学校長期休み・・・8：30～19：00

- ・場所 陽だまり学童クラブ 西区久保町 24-35 複合施設「ともだちの山」4階に移転
- ・従事者人員 放課後児童支援員・・・3名 補助指導員・・・6名
- ・対象者 小学校1～6年生・・・定員40名（障害児も含む）実員33名
- ・支出金額 21,381,867円

放課後児童健全育成に関する事業・・・2)なないろ学童クラブ

- ・目的および内容・行事など 陽だまり学童クラブと同じ
保護者、本部、陽だまり学童、保育所、つむぎ子ども教室、関係機関等との連絡、連携を密にした。
- ・開所日時 通年 ただし、日曜・祭日のほか年末年始（12/29～1/3）は休業。
平日の短縮授業に限り、「放課後」を開所時間とした。
月～金曜日・・・12：30～19：00 土曜日・・・9：00～19：00
学校長期休み・・・8：30～19：00
- ・場所 なないろ学童クラブ
- ・従事者人員 放課後児童支援員・・・3名 補助指導員・・・6名 ボランティア・・・3名
- ・対象者 小学校1～6年生・・・定員39名（障害児も含む）実員40名
- ・支出金額 17,521,788円

③ 障害児・者と高齢者の福祉に関する事業・・・

1) 障害児通所支援事業 つむぎ子ども教室

- ・目的 子育ての科学に基づき、ヒトとしての「生体の生活リズム」を守り育て、「個別支援計画」に沿った療育活動を実施し、子どもの成長と発達を促す。

・内容 ア 児童発達支援

- a 発達支援～『児童発達支援計画』を作成し、療育指導を行った。定期的に、面談やモニタリングを行い、必要に応じて個別相談を行った。
- b 家族支援～親子イベントは、人数制限や開催時間帯を分けるなど新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。保護者学習会も予定通りに行うことができ、就学に向けたテーマの会では、放デイの保護者から学校情報を得られた。また、父の会を初めて開催することができた。(保護者学習会・年9回)
- c 地域・関係機関連携支援～法人内の保育所と個別支援会議を行った。また、区役所、療育センター、計画相談等と情報共有し連携を図りながら支援することができた。

イ 放課後等デイサービス

A 発達支援～児童発達支援と同じ。

B 家族支援～回数を減らし、感染症対策を行いながら、茶話会を実施した。つむぎ会を開催した。(7月・2月：年間2回)

c 地域・関係機関連携支援～西区・放デイ連絡会に参加。他、相談支援事業所開催のカンファレンスや、西区自立支援協議会等、関係機関との連携を図った。

ウ 保育所等訪問支援 児童が通う幼稚園・公立小学校を訪問し、直接支援やカンファレンスなど情報共有を図り、連携支援を行った。

エ 行事 (親子交流イベント等)

6月…つむぎ体操イベント(児) 6月…親子水泳(放) 7月…つむぎ会(放)

9月…夏祭り(児) 10月…カワスイ遠足(放) ハロウィンイベント(児)

11月…みかん狩り(児・放) 芋ほり(放) 12月…実践報告会(児・放)

クリスマス会(児・放) 1月…つむぎ発表会(放)

2月…つむぎ会(放) つむぎサファリ(児) 3月…進級お祝い会(放)

他、季節による行事(夏祭りごっこ、ハロウィン、豆まき他)は各事業所で活動中に実施した。

・開所日時 児童発達支援…通年 月・水・木曜日(9:00～17:00) 火・金曜日(9:00～15:00)

放課後等デイサービス…通年 月曜日～金曜日(12:00～18:00)

*学校長期休業日9:00～18:00*土曜日 療育やイベントに合わせて開所

保育所等訪問支援…通年 月曜日～金曜日9:00～12:00(うち1～2時間程度)

*ただし、日曜・祭日、年末年始休業の他に、夏季休業日を設けた。

・場所 つむぎ子ども教室

児童発達支援…なかまの杜3階 マック西横浜コート(南浅間)

放課後等デイサービス…なかまの杜4階 高橋ビル(久保町)

・従事者人員 施設長…1名 管理者…2名・児童発達支援管理責任者…4名

常勤保育士・児童指導員等…15名 看講師…1名

・対象者 ア児童発達支援 0歳児～未就学児 定員 各事業所 1日10名

イ放課後等デイサービス 小1～高3 定員 各事業所 1日10名

ウ保育所等訪問支援 0歳児～高3

・支出金額 98,946,999円

2) 相談支援事業 つむぎ相談支援事業所

- ・目的 障害児の心身の状況、環境等に応じ、関係機関と連携を図りながら、適切な「福祉サービス等」を提供できるように計画を立て支援していく。
- ・内容 ア 障害児支援利用計画書を作成した。
イ 障害児支援利用計画の実施状況を確認するために、定期的にモニタリングを行った。
- ・開所日時 火曜日・金曜日 10:00～12:00
*祭日・夏季・年末年始等の休業を設けた。
- ・場所 なかまの杜内 4階 放課後等デイサービスと共有
- ・従事者人員 管理者・相談支援専門員…1名 相談支援専門員…2名
- ・対象者 障害児・障害者
- ・支出金額 1,527,422 円

3) 障害児通所支援事業 つむぎ子ども教室Ⅱ

- ・目的 つむぎ子ども教室と同じ
- ・内容 つむぎ子ども教室と同じ
- ・開所日時 通年 児童発達支援…通年 月～金曜日 (9:00～15:00)
放課後等デイサービス…通年 月曜日～金曜日 (15:00～17:00)
保育所等訪問支援…通年 月曜日～金曜日 9:00～12:00 (うち1～2時間程度)
*ただし、日曜・祭日、年末年始休業の他に、夏季休業日を設。
・場所 つむぎ子ども教室Ⅱ 児童発達支援・放課後等デイサービス
西区久保町 24-35 複合施設「ともだちの山」2階に新設した
- ・従事者人員 施設長…1名 管理者…1名・児童発達支援管理責任者…1名
保育士・児童指導員等…4名
- ・対象者 ア児童発達支援 0歳児～未就学児 定員 各事業所 1日7名
イ放課後等デイサービス 小1～高3 定員 各事業所 1日3名
ウ保育所等訪問支援 0歳児～高3
- ・支出金額 28,759,660 円

④ ムーミン・なかま食堂 (子ども食堂) に関する事業

- ・目的 子ども達の孤食、欠食支援とそのための条件づくりとして、当面は誰でも利用できる食堂を開設する。
- ・内容 ア 乳幼児からシニアまで、地域の方が気軽に過ごせる居場所づくりを行った。
イ 障害児の社会参加のきっかけづくりは会食ができない中で実施できなかった。
ウ コロナ感染状況をその都度判断しながら商店街や地域の住民に呼びかけ、会食形式で開所する予定だったが、感染が収束せず弁当販売となった。
エ 例年より補助金申請、寄付金・募金活動をより活発に実施し財源確保を行った。
- ・場所 ア マック西横浜コート 1F (児童発達支援つむぎ子ども教室内) で調理し、安全対策を立て、宣伝のためにのぼり旗や照明などで照らし、弁当販売を実施した。
イ Mカフェ (藤棚1番街) の協力を得て弁当販売を行った。

- ・延べ利用者見込み人数 目標は 900 名だった実人数は 850 名
- ・従事者人員 8 名前後（各事業所、事務から 1～2 名の係り）で行った。
- ・支出金額 822,263 円

⑤ 本部・子育て研究所に関する事業

- ・目的 法人の目的を達成するために必要な各種事業の円滑な運営を補佐し、人才育成および地域への貢献、啓発を行う。

- ・内容 ア 渉外、地域、商店街との連携

a 行政、業者、法人会等との適切で良好な関係をつくり、地域、商店街との信頼関係を築くために努力した。

b 町内会、商店街の 5～6 月の主な諸行事は中止となったが、事業所主催行事は、ウイルス感染状況に対応して、内容・方法を工夫し実施した。

c 法人に対する地域のニーズを調査し、事業に反映させた。

イ 法人案内の活用、ホームページの更新・活用等を通じて法人の理念、政策を広げた。

ウ 保育士、指導員の確保と研修は、感染対策を立て工夫して行った。

エ 職員の自発的学習意欲の向上

法人内で幹部、リーダー、中堅、新人が相互に学び合う研修は、感染防止対策を行い可能な限り実施し、その運営を組織的に行った。また、学習内容が職員全体のものになるように工夫した。

外部の保育関連研究会、法人外の保育事業所との交流については、感染収束状況を判断し行なった。

オ 地域のボランティア募集は状況を見て可能な限り実施し、募金・寄付金・補助金については引き続きその確保のために活動した。

カ 職員の処遇は、前年度の国の給与改定通りに実施した。また、ウイルス感染による財政的損失が生じた場合は、行政からの支援を他団体と協力して要請し同時に、法人内で、できる限り努力して最小限に留めた。

キ 本年度 4 月に開所した第 2 子ども子育て支援複合施設の運営を支援し、安定した保育・運営の軌道に乗った。

ク 複数の事業所で虐待や不適切な保育があるとの通報が市や、民間の障害児・者関連施設に寄せられたが、市の調査・聞き取りが行われその事実がないことが確認された。しかし、誤解されるような指導や言動を防止するため、研修を実施し新たな対策を立てることとなった。

ケ 子ども子育て支援第 1・2 複合施設においてホールを地域の活動に開放した。

コ 「医療的ケア児支援法」に基づき、ろぜっと保育園、あそびの杜分園、陽だまり学童クラブにおいて、医療的ケア児の受け入れを行った。

- ・場所 本部（なかまの杜内）

- ・従事者人員 3～6 名

- ・支出金額 1,944,296 円